

平成 21 年 2 月 18 日

各 位

エー・アイ・キャピタル株式会社
株 式 会 社 三 井 住 友 銀 行
三 菱 商 事 株 式 会 社

エー・アイ・キャピタル株式会社と株式会社三井住友銀行の資本・業務提携について

エー・アイ・キャピタル株式会社（代表取締役社長：小林 和成、以下「エー・アイ・キャピタル」）と株式会社三井住友銀行（頭取：奥 正之、以下「三井住友銀行」）は、プライベートエクイティ・ファンド（以下「PE ファンド」（注））投資に関する資産運用ビジネスの分野において資本・業務提携いたしました。

（注）PE ファンドとは、主に未公開企業の株式に投資を行い、その企業の成長や再生の支援を通じて企業価値を高めた後に IPO（株式公開）や他社への売却により投資回収を図る投資ファンドです。

本提携に伴い、三井住友銀行は、エー・アイ・キャピタルの既存株主である三菱商事株式会社（代表取締役社長：小島 順彦、以下「三菱商事」）、大同生命保険株式会社（代表取締役社長：倉持 治夫、以下「大同生命」）、三菱 UFJ 信託銀行株式会社（取締役社長：岡内 欣也、以下「三菱 UFJ 信託銀行」）から、エー・アイ・キャピタルの発行済株式の 20%（発行済株式 1,600 株）を新規に取得すると共に、非常勤取締役 1 名の派遣を行っております。

エー・アイ・キャピタルは、三菱商事、大同生命、並びに三菱 UFJ 信託銀行が株主となり、国内外の PE ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズの自己運営、及び機関投資家や年金基金等に投資一任運用サービスや投資助言サービスを提供する、PE ファンド投資に特化した投資運用・助言会社です。従来より三菱商事は、総合商社の強みを活かした金融事業を強化する中、PE ファンド投資に関する資産運用ビジネスの分野についてはエー・アイ・キャピタルをコアに事業展開を推進してまいりました。

本提携は、当該資産運用ビジネスにおいて高い評価を得ているエー・アイ・キャピタルと、国内に強固な顧客基盤とネットワークを有する三井住友銀行が、各々が有する知見とネットワークを活かし当該資産運用ビジネスを強化・発展させることを企図するものです。

エー・アイ・キャピタルと三井住友銀行は、本提携を通じて、投資対象として魅力ある PE ファンドへの投資機会をファンド・オブ・ファンズの形で提供することや付加価値の高い投資助言サービスを提供することを共同して推進し、様々なお客さまの中長期的な資産運用ニーズにお応えしてまいります。

【エー・アイ・キャピタルの概要】（平成21年2月18日現在）

事業内容	：	ベンチャー・キャピタル・ファンド、バイアウト・ファンド等の PE ファンドに投資を行うファンド・オブ・ファンズの運営と、機関投資家向けに PE ファンド投資運用・助言を行うゲートキーパー業務
設立	：	平成14年7月15日
所在地	：	東京都千代田区丸の内1-9-1 丸の内中央ビル10階
代表者	：	代表取締役社長 小林 和成
資本金	：	4億円
従業員数	：	23名
資産運用額	：	約3,000億円
株主 (出資比率)	：	三菱商事株式会社 (51%)、大同生命保険株式会社 (25%)、株式会社三井住友銀行 (20%)、三菱 UFJ 信託銀行株式会社 (4%)
ライセンス等	：	登録番号：関東財務局長（金商） 第594号 主たる業務：投資運用業、投資助言・代理業 日本証券投資顧問業協会加入(会員番号：012-02086)
上場	：	未上場

【エー・アイ・キャピタルの特色】

1. 長年に亘るグローバルなPEファンド投資に関する投資運用・助言の実績
グローバルベースでのPEファンド投資のファンド・オブ・ファンズ運用業務及び投資助言業務において、投資家のリターン極大化ニーズに対して、投資戦略の立案、投資実行等のサービスを提供してきた長年の実績があります。
2. 世界のPEファンド・マネージャーや投資家との広範なネットワーク
アジアにおける最も歴史あるPEファンド投資に関する投資運用・助言会社の1社として、世界中のPEファンド・マネージャーや投資家と広範なネットワークを構築しております。
3. わが国PEファンド投資のトップ・ティア・ファームとしての地位
PEファンド・マネージャーとの投資戦略やベスト・プラクティスに関する意見交換活動を通じ、わが国におけるPEファンド投資業界の成長と発展に貢献し、トップ・ティア・ファームとしての地位を確立しております。

以上